



入院中の患者さんを対象に
お口のお掃除をしています。



希望される方は看護師にお声掛け下さい。

口腔内には約300種類以上の多くの細菌が存在しています。
それが肺や血液に入ることによって肺炎や重篤な感染症につながります。
全身の治療前から十分な口腔ケアを行い、治療時に
“健口”（＝口の中が綺麗で治療後に口が原因の感染症を生じにくい）状態
に整えておくことが大切です。

お口の健康を守ることは、
体の健康を保つためにも重要です！！

薬の副作用の予防・軽減

誤嚥性肺炎の予防

食べる楽しみの維持
低栄養の予防

脳梗塞や心内膜炎の予防



手術部分の感染を予防

認知症予防

早産・低体重児出産の
リスク低下

糖尿病の悪化を予防



自分で歯磨きするだけではダメなの？

歯ブラシだけでは約60%しか磨けていません。
専門的機械を使用してケアを行わない限り、きれいにすることはできません。
お口の中の細菌を減らすことで、合併症や副作用を予防できます。

当院口腔外科では治療に専念できるよう、
入院中の患者さんを対象に口腔ケアを行っています。
お困りごとなど、なんでもお気軽にご相談ください。

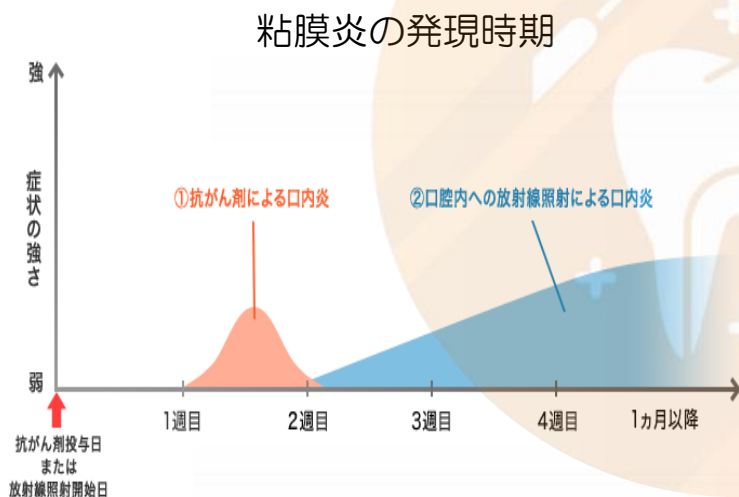
*治療費について

歯科治療は保険適用ですが、入院費（医科）とは別になります。費用は通常の歯科治療と同じです。
（5千円前後、治療内容により増減があります。）

治療が決まったら専門的口腔ケアを受けましょう

抗がん剤・放射線治療の副作用に備えましょう

がん治療では、がん細胞の増殖を抑えますが同時に正常な細胞にも作用します。そのため、個人差はありますが、口内炎や口腔乾燥、味覚障害などの副作用が口腔内にも出現します。



粘膜炎の発現頻度

通常抗がん剤使用時	30～40%
造血幹細胞移植時 (大量抗がん剤使用時)	70～90%
抗がん剤と頭頸部への 放射線治療併用時	ほぼ100%

手術前後の口腔ケアでトラブル予防！！

①手術後の肺炎、手術創部、心臓や人工関節への細菌感染のリスクの軽減

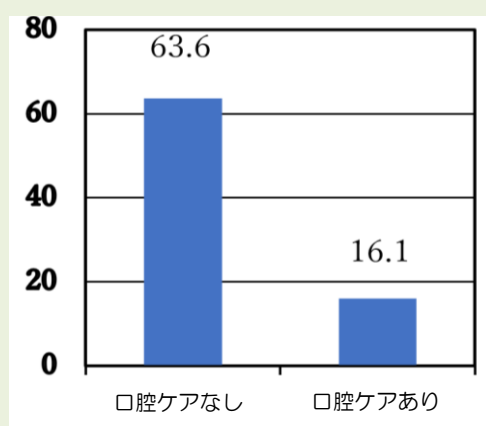
全身麻酔の手術では、口からチューブを入れて人工呼吸をします。口の中が汚れていると、チューブを伝って細菌が肺に直接入り、肺炎を引き起こすことがあります。また歯周病原菌が歯周ポケットや手術創部から血流によって心臓や人工関節などに移動し、感染を引き起こすこともあります。

②麻酔時の歯科トラブル予防

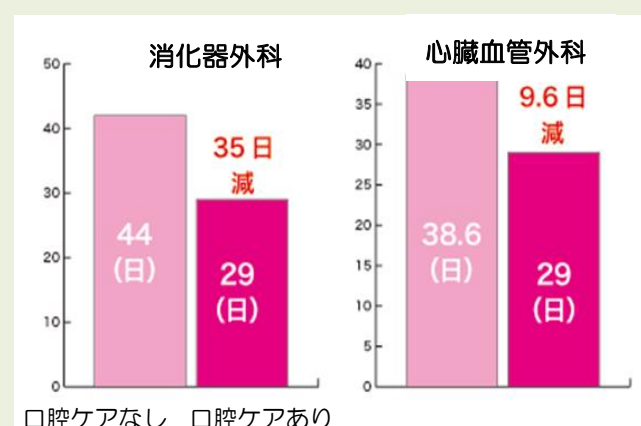
ぐらぐらしている歯があると、麻酔をかけるときに歯が抜け落ちて気管に入ることがあり大変危険なので、手術前に固定などの処置を行います。

口腔ケアは術後合併症を予防し、入院日数の短縮や治療費の軽減に繋がります。

例) 頭頸部がんの術後合併症 (%)



口腔ケア介入による在院日数の削減効果



～お口の健康はがん治療を支えます～